

## 豊田浄水場始め6浄水場排水処理施設整備・運営事業に係る 事業者の選定及び客観的評価の結果について

愛知県企業庁（以下「県企業庁」という。）は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号、以下「PFI法」という。）第7条第1項の規定に基づき、豊田浄水場始め6浄水場排水処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者を選定しましたので公表します。

なお、PFI法第8条の規定に基づき、当該選定に係る客観的な評価の結果について、あわせて公表します。

平成22年11月26日

愛知県企業庁長 山川 利治

### 1 落札者（選定事業者）

メタウォーターグループ

構成員：メタウォーター株式会社（代表企業）

メタウォーターサービス株式会社

月島機械株式会社

協力企業：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

### 2 経緯

本事業では、PFI法の規定に基づき、平成22年5月11日に入札説明書を公表し、入札説明書の手続きに従い応募者から入札書及び事業提案書が提出されました（手続き等の概要については（参考資料1）、事業提案書の概要については（参考資料3）及び（参考資料4）参照）。

その提案内容については、入札説明書と同時に公表した落札者決定基準に基づき、愛知県営浄水場排水処理施設PFI事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において審査され、同年10月18日にメタウォーターグループの提案が優秀提案と認められ、事業者を選定されました。

選定委員会における、審査の詳細については、「審査講評」をご参照ください。

### 3 落札金額

金 13,790,000,000円

（事業期間中に県企業庁が事業者を支払うサービス購入料を単純合計した金額（現在価値換算前）であり、消費税及び地方消費税額は含まない。）

#### 4 事業者の選定

応募者から提出された事業提案書について選定委員会で審査を行い、県企業庁があらかじめ提示した要求水準を十分に上回る内容であると認められ、メタウォーターグループが事業者を選定されました。

内容としては、機械脱水ケーキの全量の有価利用及び、脱水ケーキ販路の拡大の検討など、応募者独自のノウハウ、工夫に基づいた提案が、優秀な評価を受けました。

その後、選定委員会で事業者が選定されたことを受けとめ、県企業庁として、要求水準を十分に満足する内容であると認め、メタウォーターグループを本事業の実施事業者として選定しました。

#### 5 客観的評価の結果（財政負担額の比較）

本事業における県企業庁の財政負担について、県企業庁が直接実施する場合と落札者がPFI事業により実施する場合とを比較すると、以下の表のとおりとなります（前提条件は（参考資料2）参照）。

PFI事業により実施する場合の財政負担縮減額は約31億円、これを現在価値換算すると約7億円となり、現在価値換算後の財政負担縮減率は約7%となります。

	県企業庁の財政負担額	
	実質負担額	現在価値換算後負担額
県企業庁が直接実施する場合	18,271百万円 <sup>※1</sup>	10,820百万円
PFI事業により実施する場合	15,174百万円 <sup>※2</sup>	10,075百万円
財政負担縮減額	3,097百万円	745百万円
VFM(財政負担縮減率)	—	6.9%

(消費税及び地方消費税額を含みません。)

※1 各年度の財政負担額を単純合計したものに、県企業庁の起債の支払利息を加えた後、国庫補助金を控除したものです。

※2 落札金額（13,790百万円）に県企業庁の事務経費及び、起債の支払利息を加えた後、国庫補助金を控除したものです。

豊田浄水場始め6浄水場排水処理施設整備・運営事業の入札手続等の概要

- 1 事業名称 豊田浄水場始め6浄水場排水処理施設整備・運営事業
- 2 事業範囲 PFI法に基づき、西三河地域と東三河地域における6浄水場の脱水設備等の設計・建設業務と運営・維持管理業務を遂行する。
- 3 事業主体 落札者のうち構成員が、会社法に定める株式会社として本事業の実施を目的とする特別目的会社（SPC）を愛知県内に設立し、当該特別目的会社が県企業庁との事業契約締結後、本事業を実施する。
- 4 事業期間 平成23年4月から平成43年3月までの20年間
- 5 事業形態 サービス購入型（民間事業者が県企業庁から汚泥処理施設の整備費と汚泥引取料として収入を得ることで、PFI事業を運営する方式）
- 6 事業方式 BTO（Build-Transfer-Operate）方式（民間事業者が施設を建設した後に、所有権を県企業庁に移転して維持管理運営を実施する方式）
- 7 入札手続

(1) 入札方式 入札価格と入札価格以外の性能を総合的に評価する総合評価一般競争入札方式

(2) 経緯とスケジュール

平成22年 5月11日	入札公告、入札説明書等の公表
平成22年 8月 4日	入札参加資格の審査結果の通知
平成22年 9月 1日	入札及び事業提案書の受付
平成22年11月26日	実施事業者の公表
平成23年 2月（予定）	事業契約を締結

## 客観的評価の前提条件

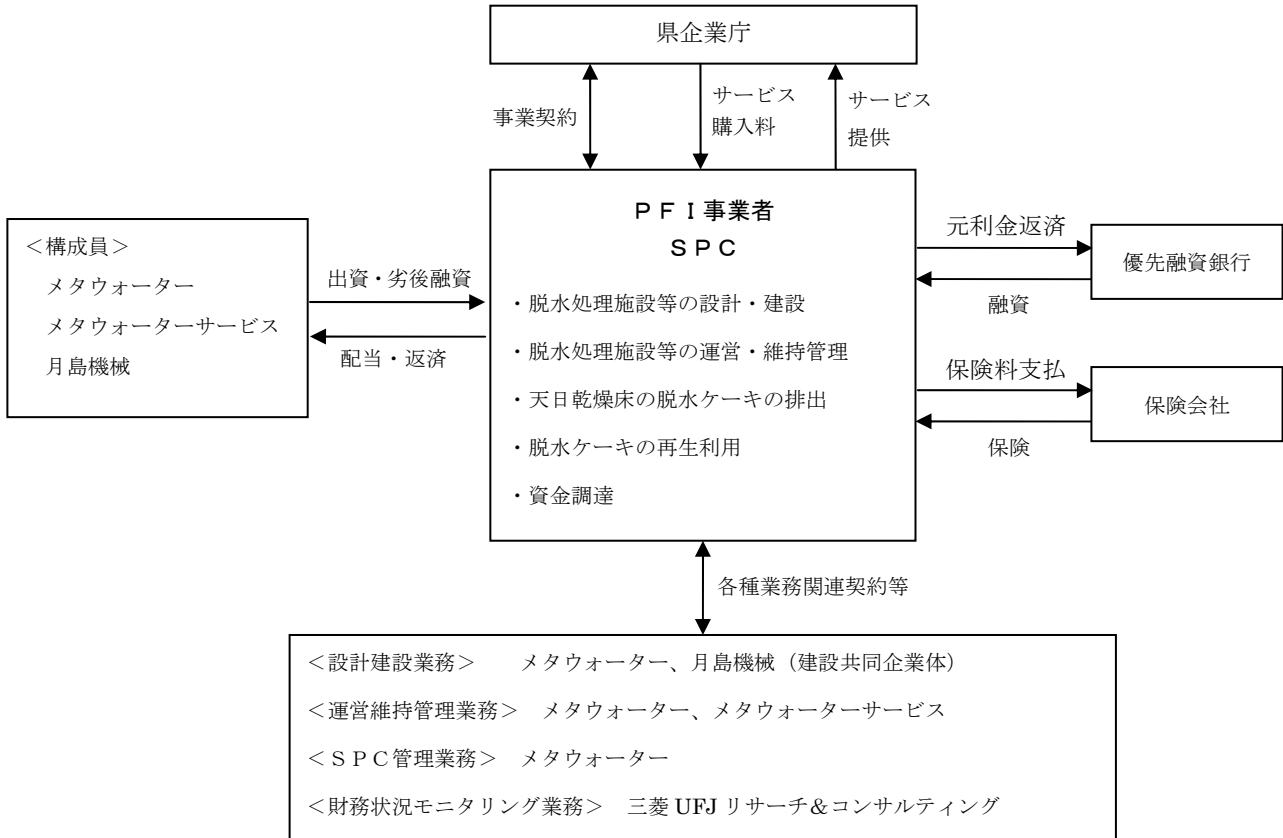
落札者の提案内容を踏まえ、前提条件は次のとおり設定しました。

- 1 割賦支払金の支払利息は提案内容に基づき設定しました（基準金利＋スプレッド）。なお、基準金利は、平成33年3月支払い分までについては、平成22年4月1日東京時間午前10時にテレレート17143頁に発表されたTOKYO SWAP REFERENCE RATEとし、それぞれ、割賦支払金の対象に応じ、次のとおりとしました。また、平成33年4月から平成43年3月の支払分については、平成22年4月1日の東京時間午前10時にテレレート17143頁に発表されたTOKYO SWAP REFERENCE RATEとし、それぞれ、6か月LIBORベース10年物（円-円）金利スワップレートである1.432%としました。

浄水場名	割賦支払金対象	支払額
豊田浄水場	平成23年度工事分 (増設)	6か月LIBORベース9年物（円-円） 金利スワップレートである1.294%
幸田浄水場	平成26年度工事分 (更新)	6か月LIBORベース6年物（円-円） 金利スワップレートである0.870%
豊橋浄水場	平成24年度工事分 (更新)	6か月LIBORベース8年物（円-円） 金利スワップレートである1.151%
	平成25年度工事分 (更新)	6か月LIBORベース7年物（円-円） 金利スワップレートである1.009%

- 2 一次支払金は、県企業庁に交付される国庫補助と起債を合計し算定しました（平成26年度までに実施される増設・更新等業務については、所有権を県企業庁に移転した後、係る対価の3分の1に消費税及び地方消費税を加えた額、平成30年度以降に実施される更新業務と平成23年度に実施される豊橋南部浄水場のケーキヤード等の整備業務については全額）。起債の金利は、現時点における水準を参考に設定しました。
- 3 国庫補助は工業用水道事業費補助金交付要綱等に準じた補助率より算定しました。
- 4 割引率2.7%、物価上昇率0%としました。
- 5 5浄水場については、脱水ケーキの全量有価利用を行うという提案内容に基づき、脱水ケーキの非有価利用に伴う対価の支払は見込んでいません。

### 落札者の事業実施体制



(事業提案書から抜粋)

## 落札者の提案概要（事業提案書から抜粋）

## 1 施設・設備概要

## (1) 脱水処理システムの有効性

- ・ 既設との整合性、脱水ケーキの再生利用促進から、無薬注加圧（フィルタープレス）脱水機を採用。
- ・ 脱水ろ液の濁度が20度を超過した場合に備え、ろ液濁度対策設備を導入。
- ・ 低濃度汚泥の幸田浄水場に脱水前処理設備を導入。

## (2) 脱水機仕様の概要

浄水場名	豊田	幸田	安城	豊橋	豊川
型式	長時間型	長時間型	長時間型	短時間型	長時間型
ろ過面積× 設置台数	800m <sup>2</sup> ×2台	314m <sup>2</sup> ×2台	400m <sup>2</sup> ×4台	218m <sup>2</sup> ×3台	300m <sup>2</sup> ×2台

※ 豊川は、事業期間中1台のみ更新のため、事業期間終了時は、既設 200 m<sup>2</sup>+更新 300 m<sup>2</sup>

## 2 運営・維持管理に係る提案内容

## (1) 管理運営体制

- ・ 運転管理業務は、幸田浄水場に配置する総括責任者の指揮下で、副総括責任者および各浄水場に配置する運転従事者で構成される体制で実施。
- ・ 5浄水場に専任の廃棄物処理施設技術管理者、防火管理者を配置。また、非常駐で脱水ケーキ管理員、保全技術者、5浄水場兼任の電気主任技術者を配置。等

## (2) 運転管理・保全管理

- ・ 長年培った修繕実績、予防保全経験等に基づき、各機器類に適した事業年度修繕計画を策定。
- ・ 全浄水場の修繕内容、実施情報をネットワークにて共有一括管理の上、各浄水場の維持管理情報を蓄積し、修繕計画に反映。
- ・ 豊富な修繕実績、予防保全経験等に基づく、各機器類に適した長期修繕計画を策定。等

## 3 脱水ケーキの再生利用に係る提案内容

- ・ 5浄水場の脱水ケーキについては、予測される発生ケーキ量の全量の有価利用を実施。
- ・ 天日乾燥床の脱水ケーキについては、学識経験者等を通じて脱水ケーキの特性を把握し、利用用途を拡販に努める。
- ・ 脱水ケーキの商品価値を高めて、有価利用の用途を拡大。

## 4 事業計画等に係る提案内容

- ・ 業務に精通した実績・経験豊富な構成員による業務遂行。
- ・ プロジェクトファイナンスの経験が豊富な金融機関の精査を踏まえた事業収支計画を策定し、同行から低利の優先ローンを実際に調達。
- ・ 本事業と類似した浄水場関係の業務経験が豊富な企業によるリスク顕在化の予防および的確なリスク管理。

以上